

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	基礎柔道整復学1	講義	4	80	柔道整復学理論編 解剖学1
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔整・1年生	浦田 輝彦	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>柔道整復学概論、柔道整復学骨折総論に伴い、柔道整復術とはどのようなものかを認識したうえで、実際の業務内容である骨折について、骨折の定義、種類、合併症、特徴、治癒過程を理解する事を目的とする。 また、整復法の理論を学ぶことによって正しく実施できるための知識を身につけ、外傷に必要な骨構造の理解も深める。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>【助言】 運動器(特に骨・筋)の解剖学の知識が必要となります。 基本的な骨の名称と部位名は覚えるようにしましょう。 【学習支援】、 配布資料と教科書を中心に授業展開します。</p>					
教科書・参考書					
教科書:全国柔道整復学校協会 柔道整復学・理論編 改訂第7版					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●基礎医学教科である解剖学・生理学の知識が必要となる為、関係科目を事前に復習しておく。 ●プリント等の配布物の管理を的確に行う。(紛失による再配布はしない。) ●小テストを実施を欠席した場合、原則として評価なしとする。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期、後期に定期試験を行い評価とする。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション		/	
2		柔道整復術および柔道整復師の沿革 (P2~P6)		/	
3		柔道整復術および柔道整復師の沿革 (P2~P6)		/	
4		業務範囲とその心得および柔道整復 師倫理綱領 (P7~P10)		/	
5		業務範囲とその心得および柔道整復 師倫理綱領 (P7~P10)		/	
6		業務範囲とその心得および柔道整復 師倫理綱領 (P7~P10)		/	
7		Ⅱ-1 人体に加わる力(P12~P13)		/	
8		Ⅱ-2 損傷時に加わる力(P14~P15)		/	
9		Ⅱ-3 痛みの基礎(P16~P19)		/	
10		Ⅱ-3 痛みの基礎(P16~P19)		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		Ⅱ-3 痛みの基礎(P16~P19)		/	
12		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 4-1骨の損傷		/	
13		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨損傷の概説		/	
14		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の分類		/	
15		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の分類		/	
16		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の分類		/	
17		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の症状		/	
18		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の症状 前期試験対策		/	
19		前期定期試験解説 Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の合併症		/	
20		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の合併症		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 小児骨折、高齢者骨折		/	
22		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 小児骨折、高齢者骨折		/	
23		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の癒合日数 骨折の治癒経過		/	
24		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の治癒経過 骨折の予後		/	
25		Ⅱ-4(P20~P46) 各組織の損傷 骨折の予後 骨折の治癒に影響を与える因子		/	
26		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 整復法		/	
27		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 整復法		/	
28		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 整復法		/	
29		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 固定法		/	
30		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 固定法		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 後療法 運動療法		/	
32		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 後療法 物理療法		/	
33		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 後療法 物理療法		/	
34		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 後療法 物理療法		/	
35		Ⅱ-6(P88~P136) 治療法 後療法 指導管理		/	
36		Ⅱ-7(P137~P145) 外傷予防		/	
37		Ⅱ-7(P137~P145) 外傷予防 後期試験対策		/	
38		基礎柔道整復学科1 まとめ		/	
39		後期試験解説		/	
40		基礎柔道整復学科1 まとめ		/	